

一心太助の天秤棒

～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担で売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ

シリーズ/NO 153号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期21年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4200日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTubeの白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は287名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。



「トランプ時代の社会と人権～現地報告」ネットでの配信、写真撮影も不可。ここは日本なのに、何故か？

NPO 法人ヒューマンライツ・ナウが主催した専修大学・神田キャンパスでの「トランプ時代の社会と人権～現地報告」と題した講演会に参加した。講演会の内容は、以下の様な案内文が。

今年1月20日に第47代アメリカ合衆国大統領としてドナルド・トランプ氏が再び誕生しました。就任して3か月の間に起こった様々な政策の変化は、アメリカ国内のみならず世界を巻き込んで、大きな混乱と動揺が広がっています。その政策の変化の一つとして、アメリカに住む人々、特に移民やマイノリティの人権は極めて深刻な影響を受け始め、表現の自由、学問の自

由、大学の自治など米国がこれまで築いてきた人権が奪われようとしています。また DEI などの多様性の政策も大きな後退を余儀なくされています。

ニューヨークで移民女性の法的保護に取り組んでいる弁護士小林陽子氏を迎え、日本ではなかなか伝わらないアメリカの深刻な状況を伺いながら、さらに津山恵子氏、伊藤和子氏も加わって、このテーマについて語り合います。

登壇者には、津山恵子氏（ニューヨーク在住のジャーナリスト）。小林陽子氏（ニューヨーク在住の弁護士）更にハーバード大学で現在研究活動をしている三浦まり弁護士。

会場には、200人程の市民が参加しており女性の姿が多く、特に質問したICUの二人の女子学生、アジア大学の4年の女学生に象徴される様に。

しかし、冒頭から何度もネット配信や切り取りを禁止しています、と主催者から呼びかけられた。ズーム参加者は一人もいない。

それは、現在米国では、トランプ大統領によって大学をはじめ行政機関は勿論民間企業までも旧来常識であった、LGBTQ等社会的な少数者への差別禁止を撤廃し、特に移民に対して国外退去を徹底的に実行している。そのため移民局が突然市民宅を訪問して市民を拘束、連行し、国外退去を命ずることが横行している。

これに抗議して街頭や大学で開催して来た集会へ参加者にも容赦がないため、一日中怯えと不安が市民社会を覆っているため、少しでも顔や発言が当局からの拘束の理由にならない様に、会場参加者には最新の注意をはらって欲しい、との事だった。

報道等で、トランプ大統領の人権無視は筆舌に尽くしがたい、と感じていたがこの状況は、中国や北朝鮮の現状よりも更に深刻であり、自由と民主主義の基軸国だった米国は全く異質な国になってしまった、という事だ。米国の終わりの終わりに立ち会っている。

（4月27日・日曜日）

酔っ払いの男性に絡まれて、警官が対応

今朝の駅立ちは、新越谷駅東口で午前6時からスタートした。月曜日だけに普段より通勤客が多く相変わらずの雑踏状態の中、市政レポートの配布を続けていた。何時ものように馴染みの市民から挨拶や声かけ続けられる。（裏へ）

午前8時20分頃50代で手には缶ビールの男性が幟旗を指さして、何やってんだ、と。

はい、市議会の報告をしています、と私。なんだ市議会、と捨て台詞で一旦通り過ぎて、再び私の目の前に。なんですか、と私、するとくだらん、とこの男性。そして、私から1メートル前の道路に座り込んだり、タクシーが停車している車道側のフェンスのすぐそばにたってじっとしている。(タクシーと近接しているので危険な状態に)そしてまた私に向けて、つまらんと吐き捨てる、何がつらないのですかと私。つまらんのはつまらんと。すみません政治活動や仕事の妨害しないで下さい、と私、何が妨害だ、俺は何もしていない、俺は仕事は終わった、と立ち去ろうとしないため、一緒に市政レポートを配布していた吉田理子さんに最寄りの交番(100m位先ある)に「市政報告をしているのですが、市民とトラブルっているので対応して欲しい」と言いに行ってください、とお願いした。

更に、この男性に交番に行きましょう、警察官と話しましょうと、私。お一行ってやるよ、交番だろう、と男性。酔っているので足取りがおぼつかないので、少し背中を押しながら交番に向かっていたが、何をやる、暴力か、と言ってきたので一緒に歩くのはやめた途端に、警察官が3人近寄って来た。すみません、お手数をおかけします。酔っ払いにからまれています、私。するとその中に二人がすぐにこの男性の両脇を抱えて離れて行った。一人の警察官が私にお名前は、との問いだったので、直ぐに名刺を渡した。どうやらこの男性は朝の常連?のようで色々この場所でトラブルを起こしている様で、殆ど私への事情聴取がなかったのはそのせいだろう、と。社会的に孤立状態(想像だが)のこの男性は誰かにかまって欲しかったのだろうが、その際は素面の時なら私でよければ何時間で対応します、との思いが募った。

(4月28日・月曜日)

5月2日、越谷市議会・議員有志の会主催の第8回市政報告会を開催した。令和6年度3月越谷市議会の焦点や争点等7項目を中心に説明、報告をした。激しい雨の中会場となった越谷市役所1階の多目的ホールには雨天にも拘わらず多くの市民が参加し、質問があいついだ。

また冒頭福田晃越谷市長もゲストスピーカーとして参加して頂いた。その中で事前に私に質問を頂いていた「調整地域におけるヤード問題」も俎上に上がった。また賛成多数で採択された政府、国会への意見書「消費税のインボイス制度導入反対」への質問や不登校児への具体的な対応等どれも重要な案件だった。

(5月2日・日曜日)

コミュニティカフェ「ガヤチル」開店から最初のイベント「朝市」を開催



夜来から雨が降り続いていたが、第1回コミュニティカフェガヤチル主催の「朝市」を午前9時から開催。

七輪を出すかどうか、少し迷ったが告知していたので階段入口に設置して、炭を熾して早速、試食用(と言っても売り物ではない)カワハギの干物をスタート前には焼き始める。

すぐに周辺には炭とカワハギの匂いが漂い朝から雨音と煙と匂いで、いい雰囲気醸し出している。その内野菜生産者の方が到着して何時もの軽ワゴンに一杯の野菜を並べて展示し準備万端。

カウンターの中ではルバーブ(売り物の野菜)のジャムと手作りみそも用意。すぐに女性が来店、更に次々と女性や、母親と娘(小6)と続き、後は三々五々にやはり女性ばかり、40代から50代の正に来てほしい市民がぴったりと来店して、試食をしながら歓談する風景も想定どおりで第1回朝市は大成功。おしゃれな空間では人はリラックスして話し込むものだ。

次回が楽しみと思いながら午前中で一応終了。昼はスタッフのための賄い飯(ごはんと野菜料理)を食べながらあれこれと感想を出した。

(5月6日・火曜日・祝)



調整地区での資材置き場問題も俎上に、第8回市政報告会で